

編集後記

14号をお送りします。今回は、科研メンバーから、宮澤さんにご寄稿いただきました。

さて、この小冊子も、2004年の創刊から数えて、8年目に入ります。平均すると年に2号、雑誌の薄さを考えますとささやかなものですが、何とかやっでこれました。また、今年度の研究会などの活動は、研究会が9回と、九州大学でのシンポジウム開催で、これも例年どおりのペースで開くことができました。いずれにつきましても、ご協力くださいましたみなさまに、お礼申し上げます。年度末の科研満了までに本誌をもう1冊発行することについては、すでに作業を進めておりますが、その後につきましても、皆様のご協力をいただいで、継続していければと願っております。

本科研の研究代表は村岡倫さんですが、編集は森田憲司がおこなっておりますので、本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14世紀東アジア史料通信 第14号

2010年12月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究B

「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究

—元朝史料学の新展開をめざして」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents
in the 13-14th century East Asia

No.14

December 2010

Edited by
KENJI MORITA

Published by
Research Project on "Chinese Society under the Multi-Rule of the Mongol Empire"
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research B

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara
JAPAN